「高校再編整備計画」の基本方針を見直し、すべての子どもたちに豊かな高校教育を保障することを求める要請署名

和歌山県教育委員会
　教育長　宮﨑　　泉　　様

貴教育委員会は、「県立高校再編整備計画・実施プログラム[仮称]」骨子案（後に「論点整理」と改称）を発表し、「各高校に期待される役割・使命」を７つのカテゴリーに「整理」「明確化」しています。

学科別にカテゴリーを分けることのみならず、普通科を設置する高校を「特任高校」「地域中核高校」「地域特性高校」に分けることは、高校の序列化や格差の固定化につながるものです。説明会では「序列化を意図していない」と強く否定していますが、意図しなくとも、さまざまなリスクを冒してまで、あえて「特任高校」等を整備する必然性について十分に説明されていません。教育行政が各高校の「役割・使命」「特色」を「整理」して示すことは実質的なトップダウンであり、「こんな学校をめざしたい」「こんな学校であってほしい」という学校や地域の願いやボトムアップの議論を妨げる恐れがあります。

骨子案で強調されているように「自宅から通学可能なところに」「地域の中核となる高校」を整備したいのならば、他の「専門高校」「総合専門高校」「総合学科高校」等も含めて、すべての高校を「地域中核高校」と再評価して、均等に教育条件を整備すべきです。全県一学区制のもとでのカテゴリーの「整理」は、結果的に「残すべき高校」と「消えてもやむをえない高校」との「整理」になってしまう可能性があり、「今ある 32 校の県立高校を充実させ、可能な限り存続」するという姿勢とは相容れません。

また「保護者の信頼」「地域の期待」に応える「持続可能な高校づくり」の推進が強調されていますが、言い換えれば「人材づくり」への要請と少子化を背景とした自助努力と競争原理による「選ばれる高校づくり」がめざされているのであり、すべての子どもたちの学習権を保障する学校づくりとは方向が違います。「高校再編整備計画」のめざす方向が、「きのくに教育審議会答申」と根本において変わるところがありません。

貴教育委員会は、「今ある高校を可能な限り存続」「計画ありきではない」と強調しています。その説明が批判をかわすためだけの言辞とならないよう、実現に向けて真摯にとりくむことを強く求めるとともに、下記のことを要請いたします。

記

１．「きのくに教育審議会答申」に基づく「高校再編整備計画」骨子案の基本方針を見直すこと。

２．子どもたち・保護者・地域住民・教育関係者等の意見や願いをしっかりと受けとめ、学校の再編統廃合ではなく、地域に学校を残したうえで、すべての子どもたちに地域に根ざした豊かな高校教育を保障すること。

３．高校での少人数学級（30 人程度）の実現など教育条件の整備を行うこと。

氏　　名	住　　所

＊上記の個人情報は、和歌山県教育委員会へ提出する以外には使用しません。

呼びかけ団体
民主教育をすすめる和歌山県民連合
〒640-8241 和歌山市雑賀屋町東ノ丁 50（高校会館内）
TEL 073-432-6355　FAX 073-432-6357